

# BIOMIMETICS

## バイオミメティクス・市民セミナー



バイオミメティクス (Biomimetics) は、生物模倣技術と訳します。

「カノ口を模倣した痛くない注射針」「サメの皮膚を模倣した水抵抗の少ない水着」「ヤモリの指先を模倣した粘着テープ」、さまざまな分野での新技術の応用と商品開発がなされています。

生物は、5億年の自然選択によって、人が頭で考えるデザインよりも優れたデザインを獲得しています。博物館には多くの生物標本が収蔵されていますが、標本を工学者の設計デザインの視点から見直すとどうなるでしょう。生物学者では解けなかった自然の造形美の意味が解き明かされるかもしれません。そして生物のデザインからアイデアを得て新しい技術が生まれるかもしれません。

動植物の持つ能力や形・機能などの特性を把握し、そこからヒントを得て人工的に設計・合成・製造するのが「生物規範工学」です。

生物学と工学と博物館を結ぶ、バイオミメティクスは注目されています。

バイオミメティクス市民セミナーでは、生物学者と工学者が、新しい視点で生物の見方を紹介します。

会場：北海道大学総合博物館／知の交流コーナー  
時間：午後1時30分から午後3時30分

セミナー1：2012年2月4日 (土)

下村政嗣 (東北大学原子分子材料科学高等研究機構 教授)

「生物に学ぶ：バイオミメティクスと技術革新」

セミナー2：2012年2月19日 (日)

下澤楯夫 (北海道大学 名誉教授)

「コオロギに学ぶ：センサーの設計図」

セミナー3：2012年3月31日 (土)

針山孝彦 (浜松医科大学医学部 教授)

「タマムシに学ぶ：構造色と農業応用」

セミナー4：2012年4月7日 (土)

高原 淳 (九州大学先導化学物質研究所 教授)

「生物の表面に学ぶ：撥水、親水、防汚、潤滑のための新しい材料」

セミナー5：2012年5月5日 (土)

大原昌宏 (北海道大学総合博物館 教授)

「博物館に学ぶ：博物館の自然史研究とバイオミメティクス」

セミナー6：2012年6月2日 (土)

細田奈麻絵 (独立行政法人物質・材料研究機構 グループリーダー)

「虫・ヤモリ・植物から学ぶ：接合技術」

セミナー7：2012年7月7日 (土)

劉 浩 (千葉大学工学研究科 教授)

「蛾に学ぶ：羽ばたき飛行ロボット」

共催：北海道大学総合博物館・バイオミメティクス研究会

北海道大学総合博物館 060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029 E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp